

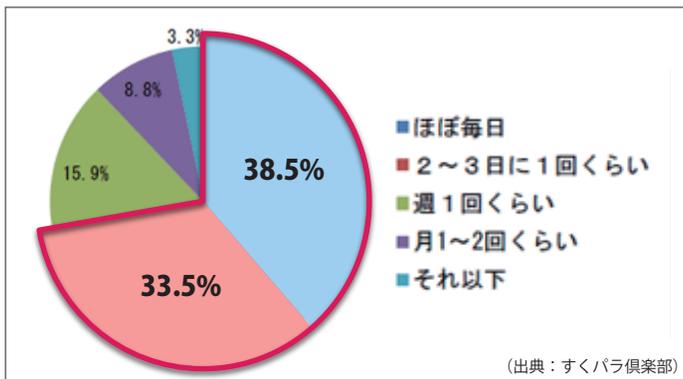
11月30日は
絵本の日!

親子の読み聞かせコミュニケーションに 新しいスタイルが誕生!

おやすみ前の **しかけ絵本アプリ**

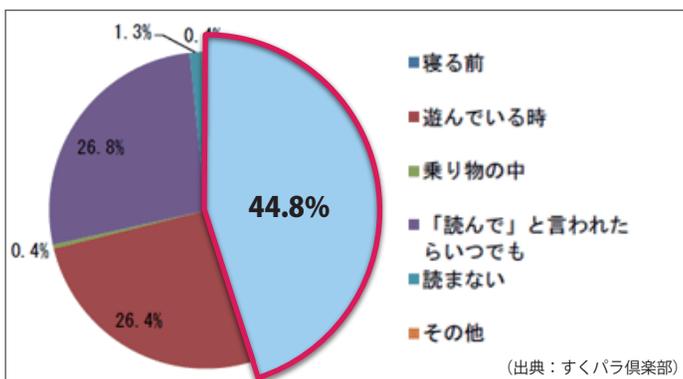
『ランプぼうやとくらやみとしょかん』

本の読み聞かせは、親子の定番コミュニケーションに!?
週に2回以上読んでいる家庭が7割超。



ほぼ毎日読んでいるご家庭は38.5%
2~3日に1回のご家庭は33.5%
で、実に**72.0%**のご家庭が週に2
回以上読み聞かせを行っていること
がわかります。

約半数の親子が、“おやすみ前”の読み聞かせコミュニケーションを行っている。



読んであげるタイミングで一番多かつたのは「寝る前」で、ほぼ半数の44.8%です。



■お子様の脳と心を育てる読み聞かせの効果とは!?

語彙数が増える

生まれてから3年間で、読んでもらっている子とそうでない子の語彙数の差は多くて100万語です (出典：The New York Times)

心が育つ

読み聞かせ中の子どもの脳内では、大脳辺縁系が活発に働いています。これは喜怒哀楽を生み出し、その感情に基づいて基本的な行動を決めている部分です

親子のコミュニケーション

読み聞かせは親子の大切なコミュニケーションです。親子で同じ時間を共有し、同じ物語に感動したり笑いあったりする時間は、子どもが大きくなると減っていきます。小さな子どもだからこそ、膝に乗せたり、抱きしめたりしながら一緒に読めるのです。読みながらスキンシップを通し、ゆったりとリラックスした親子の時間が楽しめるのです

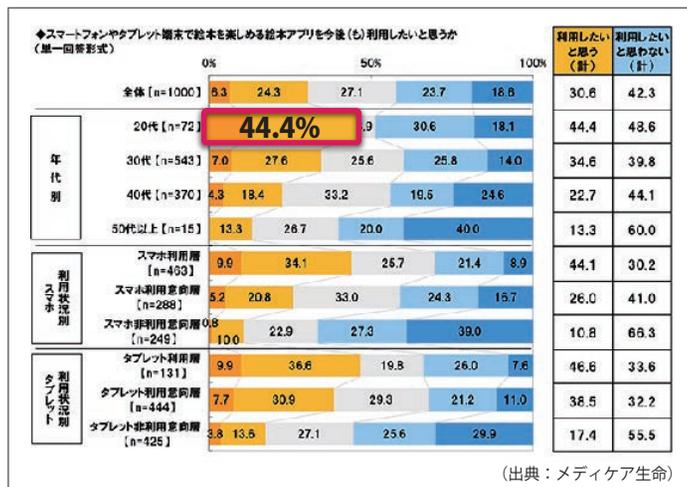
自己肯定感を育てる

たくさんのお話を通し、「自分が今いる世界だけが、世界じゃない」という「**考えの転換**」ができ、「くじけない心」、つまり、**自己肯定感が育ちます** (出典：日本経済新聞 DUAL プレミアム 絵本の読み聞かせ 子どもの「自己肯定感」を伸ばす)

おやすみ前の効果

言葉や考え方が脳に定着する一睡眠には**記憶を定着**させたり、強化させる働きがあるので、おやすみ前の読み聞かせで得た情報は子どもの**脳にしっかりとインプット**されていきます (出典：「子どもの脳を育む!よい習慣 (著者：久保田競)」)

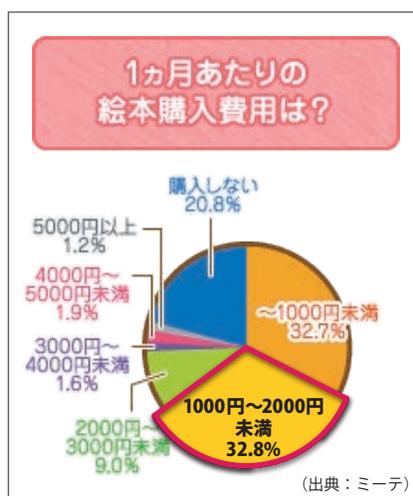
若い年代を中心に絵本アプリの利用意向は拡大！



■非常に利用したいと思う
■やや利用したいと思う
■どちらともいえない
■あまり利用したいと思わない
■全く利用したいと思わない

スマートフォンやタブレット端末で絵本を楽しむ絵本アプリに対し、「非常に利用したいと思う」と「やや利用したいと思う」の合計は、20代では44.4%いらっしゃいます。

絵本にかかる予算は毎月1000円～2000円がボリュームゾーン。
子育て世代には、欠かせなくとも重たい出費に



一ヶ月あたりの絵本購入費用は、1000～2000円未満が最も多く32.8%です。

子どもの健やかな成長のために、そして豊かな心を育むために、できるだけ多くの絵本に触れさせたいですね。しかし子育てにはお金がかかります…しかも、市販の絵本は一冊あたり1000円前後、と、決してお財布には優しくありません。

“おやすみ前”の親子の読み聞かせコミュニケーションに新しいスタイルが誕生！



おやすみ前のしかけ絵本アプリ
『ランプぼうやとくらやみとしょかん』

おやすみ前の読み聞かせにぴったり！



- ・ダウンロード無料 (iOS・Android 対応)
- ・世界の名作から創作絵本まで豊富なラインナップ
- ・楽しいしかけでお子様も夢中
- ・全冊試し読みページ付き
- ・お得な定期購読で読み放題
- ・新作も次々登場！

【報道関係者からのお問い合わせ先】

株式会社グランスカイ・スタジオ Tel: 03-6261-5785 Fax: 03-6261-5786 Email: pr@gransky.co